

# デジタルワークフローを用いた 抜歯即時インプラント埋入と 暫間補綴修復



症例提供:

**Giacomo Fabbri**  
Italy



ノーベルアクティブ TiUltra インプラントを抜歯即時埋入し、  
On1 Xeal ベース・アバットメントを装着。デジタルワークフローによる  
プロビジョナルの製作を行い、早期における硬組織・軟組織の良好な結果が得られた。

**患者**  
41歳 女性

**外科処置**  
ノーベルアクティブ TiUltra インプラントを抜歯即時埋入し、  
骨補填材を填入、On1 Xeal ベース・アバットメントを装着。

**術日**  
2019年2月

**症例ケース**  
上顎第二小臼歯の歯内療法の予後不良

**補綴処置**  
On1 Xeal ベース・アバットメントおよびテンプレタルにて  
暫間補綴修復を行う。

**治療期間**  
3ヵ月 (最終補綴装置は2019年5月に装着)

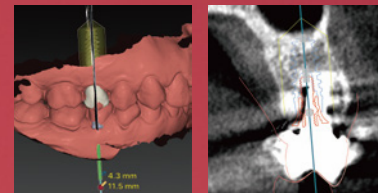
## 術前



患者のスマイル写真



側方面観とX線画像。歯内療法の予後不良が認められる。

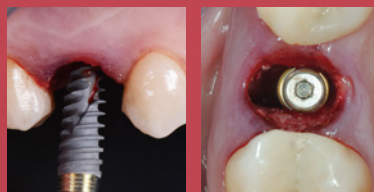


DTX Studio™ Implant ソフトウェアによるプランニング

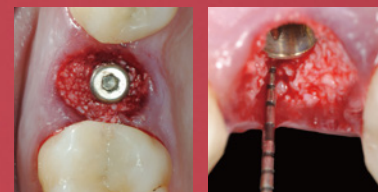
## インプラント埋入手術



抜歯後の口腔内写真。方向指示棒を挿入し方向性を確認

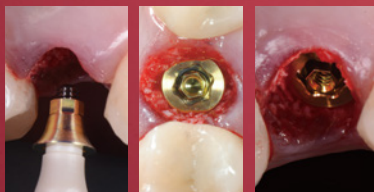


ノーベルアクティブ TiUltra インプラントを即時埋入し、  
On1 ヒーリングキャップを装着

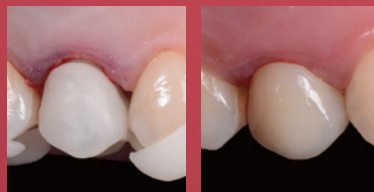


骨補填材を填入。インプラントから歯肉縁までの距離を測定

## アバットメントおよびプロビジョナル装着



On1 Xeal ベース・アバットメント装着



予め製作したテンプレタルを装着し、調整



プロビジョナル装着後18日の患者のスマイル写真とX線画像

## 術後



術後3カ月の咬合面観。最終クラウンを装着



術後3ヵ月。最終補綴装置を装着時の側方面観とX線画像



術後3ヵ月。患者のスマイル写真

# 上顎中切歯 即時の暫間補綴修復



症例提供:

Arturo Llobell  
Spain

予後不良の中切歯を抜去し、ノーベルアクティブ TiUltra インプラントを即時埋入後、テンポラリー スナップ アバットメントを装着し、即時の暫間補綴修復を行った。



患者  
40歳 女性

### 外科処置

予後不良の中切歯を抜去し、ノーベルアクティブ TiUltra インプラントを即時埋入後、テンポラリースナップ・アバットメントを装着した。

術日  
2019年4月

### 臨床ケース

上顎中切歯の歯内療法の前後不良

### 補綴処置

唇側にポーセレンベニアを築盛したジルコニア クラウンを装着

### 治療期間

3ヵ月

## 術前

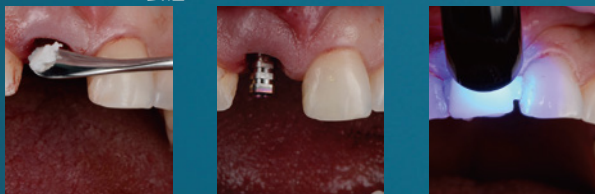


初診時の臨床写真およびX線、CBCT画像。歯内療法と補綴治療の予後不良を示す。患者は、歯科矯正による歯根挺出治療を拒否した。



ノーベルアクティブ TiUltra 3.5×13mmインプラントの抜歯即時埋入。超親水性を有するTiUltraインプラントの表面化学の恩恵を受け、血液がスレッドに沿って上がっていくのがわかる。

## プロビジョナル装着



骨補填材を填入後、テンポラリースナップ・アバットメントを装着。光照射によりレジン进行を硬化させ暫間補綴修復を行う。



プロビジョナル装着時の臨床写真とX線画像

## 印象採得



エマーゼンス・プロファイルを最終補綴装置にトランスファーするため、カスタムメイドの印象用コーピングを使用

## 術後



インプラント埋入後5ヵ月の臨床写真とX線画像

一般的な名称

歯科用骨内インプラント材

医療機器承認番号: 22200BZX00844000

歯科用インプラントアバットメント

医療機器承認番号: 22900BZX00191000